

SDGs宣言書を策定

低温食品輸送で地域貢献

岡田陸運

【福島】岡田陸運(割谷明裕社長、福島県いわき市)は、SDGs(持続可能な開発目標)宣言書を策定し、7日付で取り組み推進を宣言した。

「安全衛生」「脱炭素・省エネ」「法令順守」「品質・安全性の確保」「地域

経済の活性化」をテーマに掲げ、安全運行と配送ルート効率化による二酸化炭素(CO₂)排出量削減や太陽光発電の活用、3温度帯(冷凍、チルド、ドライ)の低温食品輸送を通じて地域社会に貢献していく目標を示した。

2021年12月に東邦銀行が創設した「とろほろSDGsサポートサービス」を活用して宣言書をまとめた。同行いわき営業部管内では全業種で3番目の活用事例となる。ヒアリングシートで取り組み状況をチェックして可視化したり、診

断結果に基づいて自社の特色を明確化するとともに、宣言書の策定と課題解決に向けた支援などが受けられる制度。

同社は、関東・南東北の大型車による幹線輸送と宮城、福島の両県での小口積合せなどをメインに3温度帯での食品輸送を提供して



宣言書を掲げる割谷社長
④と割谷達裕総務部長

いる。保管施設を有し、保管から輸送の一貫サービスを行い、効率化、コスト削減に努めている。

また、一般ユーザー向け

のガソリンスタンドを運営するほか、本社敷地内に6000平方メートルの太陽光発電所(発電能力、6000キロワット時)を建設し、再生可能エネルギーの利用促進を図っている。

(富田久男)

盛岡南地区物流拠点整備

開発事業者の意向確認

盛岡市

【岩手】盛岡市は1日、永井地区の盛岡南地区物流拠点整備に関して、物流拠

点を整備する開発事業者の意向を確認するため、対話により民間からのアイデア